

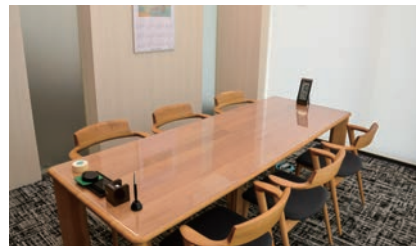
OKBの新たな店舗

OKB大垣共立銀行は地域特性に合わせた店舗を展開しています。

一宮支店

今年10月、尾西支店を新築移転し「一宮支店」としてオープンしました。

新たな店舗は地域の文化・産業を感じられるよう、伝統ある「一宮七夕まつり」の色鮮やかな吹き流しをイメージした内装や当地域が世界に誇る伝統織物「尾州織物」を装飾の一部に使用しています。また、ロビーや窓口などには岐阜県産材の木製家具を使用しているほか、太陽光発電設備や営業用車両に電気自動車を配備するなど環境にも配慮した店舗です。



OKB岐阜中央プラザ わくわくベースG(岐阜支店、千手堂支店、神田町出張所)

今年4月、岐阜市柳ヶ瀬エリアの再開発ビル「柳ヶ瀬グラスル35」内に「OKB岐阜中央プラザ わくわくベースG」をオープンしました。この拠点では、地域の“わくわく感”を創出するため、銀行窓口の営業時間終了後や休日を利用して多様なイベントを実施しています。イベントの企画・運営を担うコミュニティマネージャー2名が地域のお客さまとともにさまざまなイベントを実施し、地域の活性化を図っています。



▲拠点内のガラスにぬりえをするイベント



▲拠点を活用したパブリックビューイングの様子

新たな産業創出に向けて

OKB大垣共立銀行グループは次代を担うビジネスの創出を図っています。

アグリビジネス助成金の贈呈

OKBは2014年に「OKBアグリビジネス助成金」制度を創設し、アグリビジネスの将来の担い手を育成する高校や実用性の高い研究の推進、新商品・サービスの開発を行う研究者および農業関連事業者を継続的にサポートしてきました。

第10回となる今回は、選考で受賞が決定した高校・大学の9先へ総額227万4千円を贈呈しました。

また、長年にわたる本活動が地域のアグリビジネスの成長・発展に大きく貢献したとして、東海農政局から感謝状を受領しました。



▲受賞した高校などの代表生徒ら



▲(左から) 境頭取、東海農政局 森 重樹 局長

岐阜大学発ベンチャーへ出資

今年8月、OKBグループのOKBキャピタルやベンチャーの発掘・育成を手がけるリバネスなどの企業4社が、岐阜大学発ベンチャーのFiber Crazeへ共同出資をしました。同社が有する「繊維やフィルム素材の多孔化技術」は、農業分野やヘルスケア分野などさまざまな分野への応用の可能性を秘めています。

OKB大垣共立銀行とリバネスは研究機関やスタートアップ企業を支援し、新たな産業を育てていく「岐阜テックプランター」を2021年度から立ち上げています。その取り組みとして開催した「第1回岐阜テックプランングランプリ」でFiber Crazeは最優秀賞などを受賞しており、今回の共同出資につながりました。

